3D0032400C

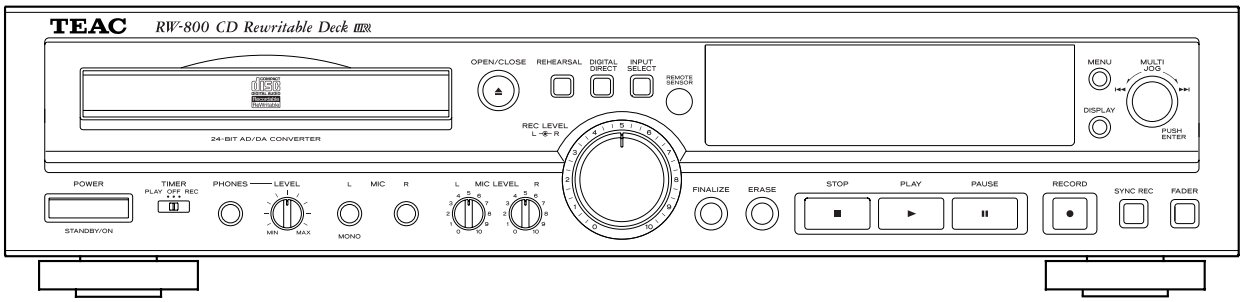
TEAC

取扱説明書

RW-800

CDレコーダー

安全にお使いいただくために ... 2
コンパクトディスクについて ... 4
リモコンの使用方法 ... 5
接続 ... 6
基本操作 ... 8
再生 ... 8
選曲するには ... 10
リピート再生 ... 11
シャッフル再生 ... 11
プログラム再生 ... 12
録音の前に ... 14
録音のための設定 ... 14
CDを簡単にコピーするには ... 16
録音 ... 18
録音するとき便利な機能 ... 20
リハーサル機能 ... 22
ミックス録音 ... 24
消去 ... 26
ファイナライズ ... 27
ディスプレーの表示 ... 28
時刻合わせ ... 29
タイマーの設定 ... 30
メッセージ一覧 ... 32
おや？故障かな？ ... 33
仕様/お手入れ ... 34
保証とアフターサービス ... 35



お買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	⚠記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠警告	
	万一、煙が出たり、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店または当社サービスセンターに修理をご依頼ください。
	万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の上に花びんや水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
	電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

⚠警告	
	この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。
	この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意	
	オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。
	電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。 ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所 ・湿気やほこりの多い場所 ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
	電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで、長期間この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

コンパクトディスクについて

CD-RとCD-RW

CD-Rディスクには一度だけしか録音できません。録音した曲を消去することもできません。ただし、ディスクの録音可能時間が残っている場合は、追加録音することができます。録音が終わったCD-Rをファイナライズ(27ページ)すると、一般のCDプレーヤーでも再生できるようになります。(一部のCDプレーヤーでは再生できないことがあります。)

CD-RWディスクの場合は、録音可能時間がいっぱいになっても、録音した曲を消去すれば繰り返し使用することができます。ただし消去できるのは、指定した曲から最後に録音した曲までです。途中の曲だけを消去することはできません。
CD-RWは、CD-RWに対応したCDプレーヤーでしか再生できません。

ファイナライズ

音声データをCD-RやCD-RWディスクに録音しても、最終的なTOC(録音したデータの情報)をディスクに記録しなければ、一般のCDプレーヤーで再生することはできません。

TOCを記録することをファイナライズといいます。
ファイナライズしたディスクには、録音することができません。ただしCD-RWの場合は、アンファイナライズすれば再び録音することができます。

(TOC：Table of Contents)

使用上の注意

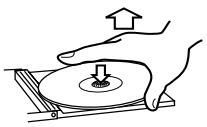
以下のマークのあるコンパクトディスクをお使いください。

CD　　CD-R　　CD-RW

本機では、音楽用の"DIGITAL AUDIO"表示のあるCD、CD-RおよびCD-RWしか使用できません。
(音楽用のCD-R/CD-RWの価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれています。)

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトデイスクの録音/再生は片面だけです。)

- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



- 信号録音面(レーベルがない面)には触れないでください。指紋や脂などが付着していると、録音するときにエラーの原因になることがあります。

- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。
ディスクの汚れは音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

● レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

● 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には置かないでください。

● ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。

● 再生が終ったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。

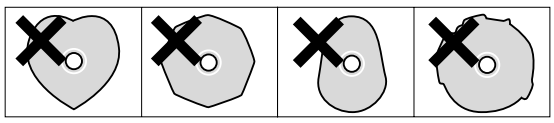
● レーベル面に印字するタイプのディスク(プリンタブル)は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

● ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

● 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。

● ヒビが入ったディスクは使用しないでください。

● ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



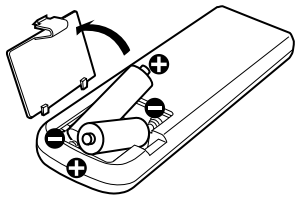
リモコンの使用方法

使用上の注意

● リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
● 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖表示に合わせて乾電池(単3形)2本を入れてください。



電池の交換時期は…

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

電池についての注意

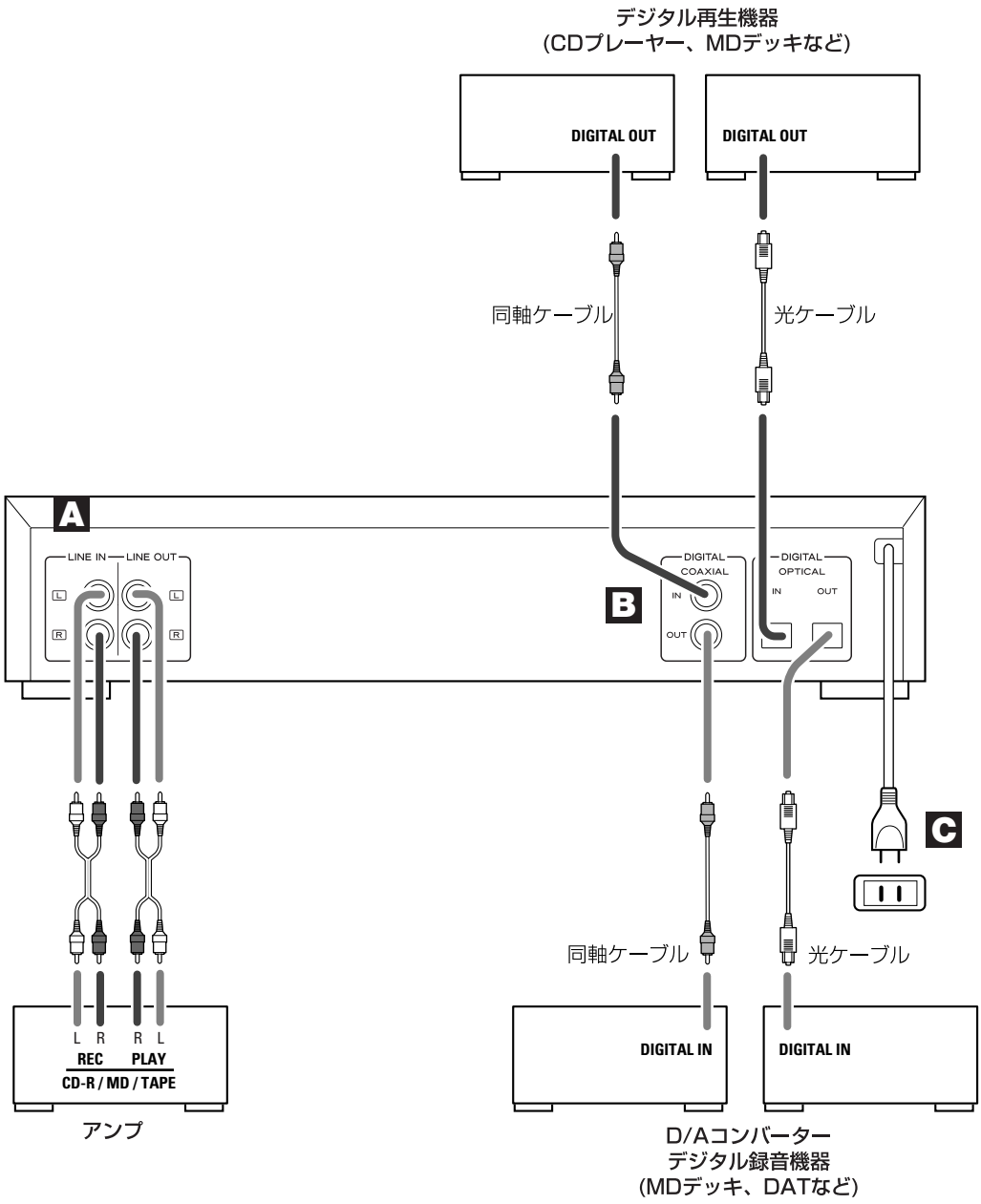
⚠ **乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。**

● 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
● 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
● 乾電池は絶対に充電しないでください。
● 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
● 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

接　続

⚠ 接続時の注意

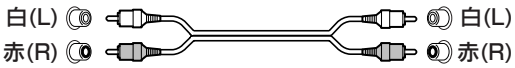
全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



A 音声入出力端子 [LINE IN/OUT]

アナログで録音/再生するときに使用します。
アンプやカセットデッキなどの音声入出力端子と接続してください。

- アンプ側にCD-R用の入出力端子がない場合は、MD、TAPE用の端子に接続してください。
- オーディオケーブルは、白のピンプラグを白(L)端子と、赤のピンプラグを赤(R)端子と接続してください。

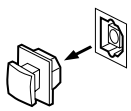


- プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

B デジタル入出力端子 [DIGITAL IN/OUT]

光ケーブルまたは同軸ケーブルを使って、CDプレーヤー、MDデッキ、CS/BSチューナー、D/Aコンバーターなどのデジタル入出力端子(DIGITAL IN/OUT)と接続します。

- 光ケーブルを接続する際は、接続端子のキャップをはずしてください。使用しないときはキャップをつけておいてください。



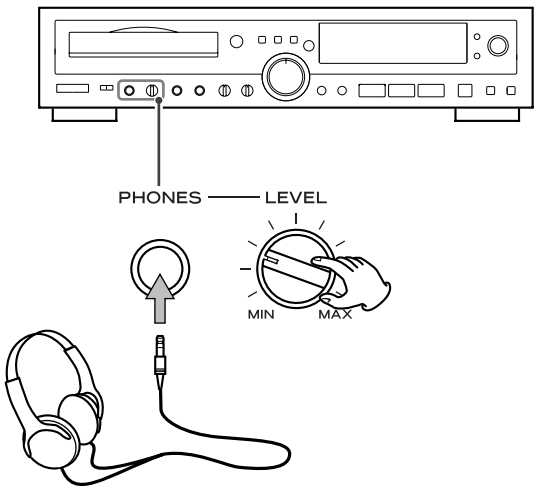
C 電源コード

家庭用電源コンセントに接続してください。
ディスプレーに"Clock Adjust"(時刻設定)と表示されます。

⚠ **交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。**

D ヘッドホンで聴くには

ヘッドホンプラグをPHONESジャックに差し込み、適切な音量に調節してください。



⚠ ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

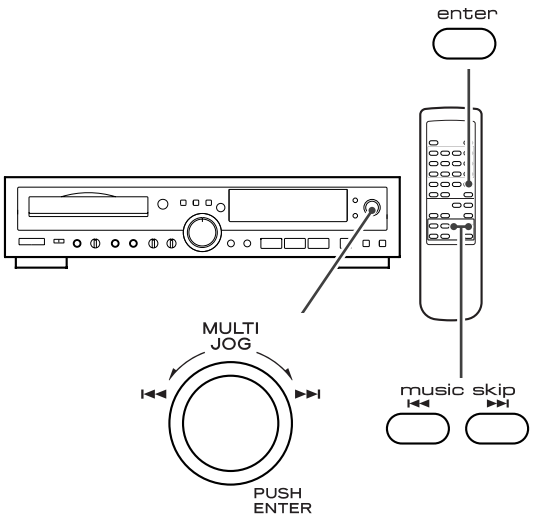
設置の注意

本機の動作保証温度は5度～35度です。
CDレコーダーは、一般のCDプレーヤーよりも熱に敏感ですので、設置の際は以下の点にご注意ください。

- 放熱を良くするために、CDレコーダーの上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。

基本操作

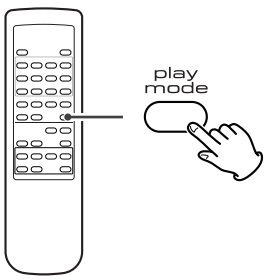
MUSIC SKIPとENTERボタン



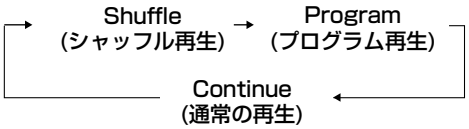
リモコンのMUSIC SKIPボタンは、本体のMULTI JOGをまわしたときと同じ働きをします。

リモコンのENTERボタンは、本体のMULTI JOGを押したときと同じ働きをします。

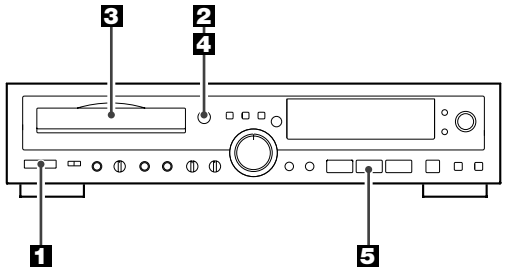
PLAY MODEボタン



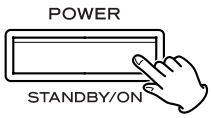
リモコンのPLAY MODEボタンを押すたびに再生のモードが変わります。



再　生



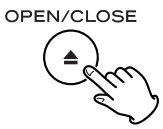
1 電源を入れる。



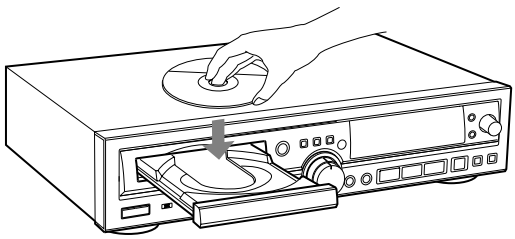
ディスクがセットされていない場合は"Welcome!" "TOC Reading"のあと "NO DISC"と表示されます。

2 OPEN/CLOSEボタン(⏏)を押す。

ディスクトレーが手前に出ます。

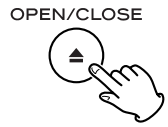


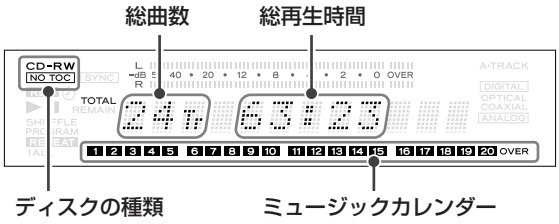
3 ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせる。



4 OPEN/CLOSEボタン(▲)を押す。

ディスクトレーが閉まります。





"TOC Reading"のあと、ディスクの種類、総曲数、総再生時間が表示されます。

- ミュージックカレンダーには20曲まで表示され、再生が終わった曲から消えていきます。
- ディスクの総曲数が20曲を越える場合は"OVER"が点灯します。

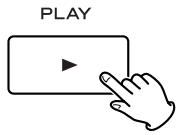
ディスクの種類

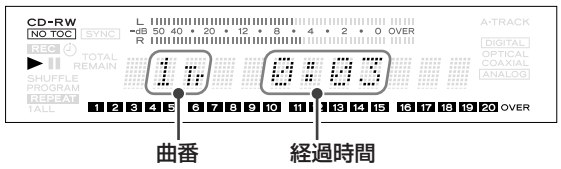
CD　：市販のCDおよびファイナライズ済のCD-R
CD-R　：CD-R
CD-RW　：CD-RW
NO TOC　：ファイナライズされていないCD-R/CD-RW

- シャッフル再生モードになっていた場合は"SHUFFLE"が点灯します。リモコンのPLAY MODEボタンを2回押して、通常の再生モードに戻してください。

5 PLAYボタン(►)を押す。

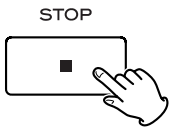
一曲目から再生が始まります。





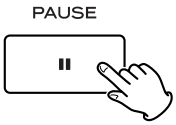
A 再生をやめるには

STOPボタン(■)を押すと再生が停止します。



B 再生を一時停止するには

PAUSEボタン(❚❚)を押すと再生が一時停止します。
PAUSEボタン(❚❚)またはPLAYボタン(►)を押すと再び再生が始まります。



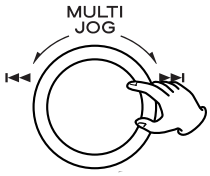
C ディスクを取り出すには

OPEN/CLOSEボタン(▲)を押すと、再生が停止してディスクトレーが開きます。

選曲するには

D 好きな曲から再生するには(スキップ)

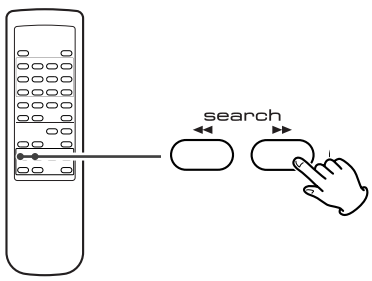
再生中にMULTI JOG(I◄◄/►►I)を回すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて操作してください。



- 停止中および一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。PLAYボタンを押すと再生が始まります。
- 再生中は、I◄◄の方向に一回クリックすると再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、MULTI JOGを続けて回してください。
- プログラム再生中は、プログラムされた順番に前または後ろの曲にスキップします。
- 最初の曲の再生/停止中に左に回すと、最後の曲にスキップします。また、最後の曲の再生/停止中に右に回すと、最初の曲に戻ります。
- リモコンの場合はMUSIC SKIPボタン(I◄◄/►►I)を押してください。

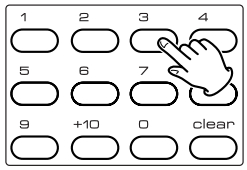
E 聴きたい部分を探すには(サーチ)

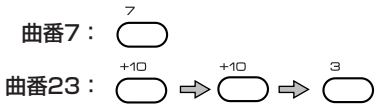
再生中にリモコンのSEARCHボタン(◄◄/►►)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。



F リモコンで再生したい曲を選ぶには。

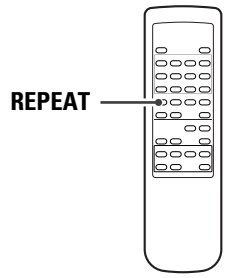
停止中または再生中にリモコンの数字キーで曲番を押すと、その曲から再生が始まります。



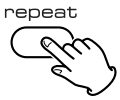


- 一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。
- シャッフル再生モードでは操作できません。
- プログラム再生モードでは、数字キーは曲のプログラムに使用しますので、選曲には使えません。
- "TOC Reading"の表示中にそのディスクに存在しない曲番を押すと、一番最後の曲が再生されます。

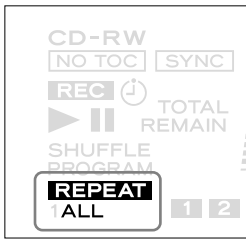
リピート再生

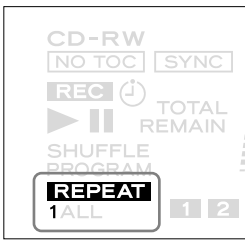


リモコンのREPEATボタンを押すたびに、リピートモードが変わります。



→ REPEAT ALL → REPEAT 1 → (オフ)





■全曲リピート[REPEAT ALL]

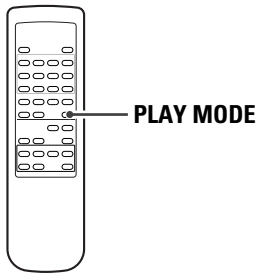
ディスクの全ての曲を繰り返し再生します。
プログラムモードでは、プログラムした曲が繰り返し再生されます。

■一曲リピート[REPEAT 1]

再生中にREPEATボタンを押して"REPEAT1"を選ぶと、再生中の曲が繰り返し再生されます。一曲リピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲の繰り返し再生に変わります。

● 停止中に一曲リピートに設定してから曲番を選んで再生すると、その曲が繰り返し再生されます。

シャッフル再生



シャッフル再生モードで再生すると、ディスクの曲がランダムに再生されます。

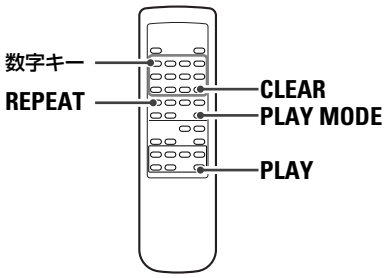
リモコンのPLAY MODEボタンを押すたびにモードが変わります。シャッフル再生を選んでください。

Shuffle (シャッフル再生) → Program (プログラム再生)

Continue (通常の再生)

● シャッフル再生中にMULTI JOGを►►Iの方向に一回クリックすると、次の曲がランダムに選択されます。I◄◄の方向にクリックすると、現在の曲の頭に戻ります。
● シャッフル再生を中断したいときは、STOPボタン(■)またはOPEN/CLOSEボタン(⏏)を押してください。
● シャッフル再生モードを解除したいときは、PLAY MODEボタンを2回押してください。また、電源プラグを抜くと、解除されます。

プログラム再生

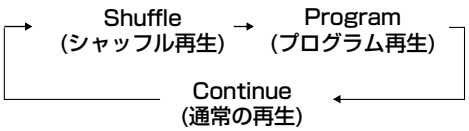


聴きたい曲を聴きたい順に、25曲までプログラムして再生することができます。

- 停止中でも再生中でもプログラムできます。
- プログラム再生中は、シャッフル再生はできません。

1 リモコンのPLAY MODEボタンを押してプログラム再生モードにする。

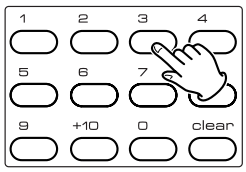
リモコンのPLAY MODEボタンを押すたびにモードが変わります。

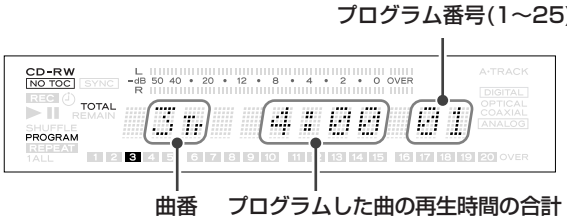


プログラム再生モードにすると"PROGRAM"インジケーターが点灯します。

2 曲番を選ぶ。

リモコンの数字キーで曲番を選んでください。

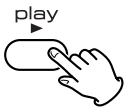




- 再生中にプログラム再生モードにした場合は、そのとき再生していた曲が最初にプログラムされます。
- 停止中は、本体のMULTI JOGでもプログラムできます。MULTI JOGをまわして曲番を選んでから、MULTI JOGを押してください。MULTI JOGを押す前にSTOPボタンを押すと、その曲はプログラムされません。
- MULTI JOGは、再生中はMUSIC SKIPボタンとして機能しますので、プログラムには使用できません。
- 間違えてプログラムした場合、CLEARボタンを押すと最後にプログラムした曲だけが削除されます。

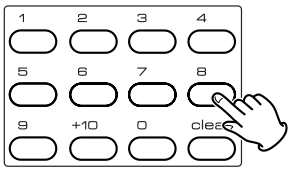
3 停止中にプログラムした場合は、曲番を選び終わったらPLAYボタン (►)を押す。

プログラム再生が始まります。



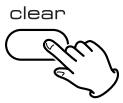
A プログラムに曲を追加するには

数字キーで希望の曲番を選ぶと、プログラムの最後に曲が追加されます。



B プログラムの一部を削除するには

CLEARボタンを押すと、プログラムの最後の曲が削除されます。



C 全てのプログラム内容の消去

PLAY MODEボタンを押してプログラム再生モードを解除すると、全てのプログラム内容が消去されます。

OPEN/CLOSEボタン(⏏)を押した場合、または停止中にSTOPボタンを押した場合は、プログラム再生モードは解除されませんが、プログラム内容は消去されます。

POWERボタンを押すと、プログラム再生モードが解除されて、全てのプログラム内容も消去されます。

D プログラムした曲をリピート再生するには

プログラムしたあと、REPEATボタンを押して全曲リピートにすると、プログラムした曲が繰り返し再生されます。

- 25曲までプログラムできます。25曲をこえると"PGM Full !"が表示されます。
- プログラムした曲の再生時間の合計が100分以上になると、"--：--"が表示されます。
- 1曲もプログラムされていない状態で再生ボタンを押すと、プログラムモードを解除してディスクの1曲目から通常の再生が始まります。

録音の前に

● CDの規格により、99曲までしか録音できません。また、4秒以下の曲は録音できません。

● 録音を開始してから4秒以内にSTOPボタン(■)またはPAUSEボタン(❚❚)を押した場合は、4秒になってから停止します。その間は無音録音状態になります。

● 録音の途中でディスクが99曲になった場合は、"Disc Full"と"PMA Writing"を表示したあと、停止します。

● 録音の途中でディスクの録音可能時間が0になった場合は、フェードアウトしたあと"Disc Full"と"PMA Writing"を表示して、停止します。

● 途中まで録音してあるディスクを入れた場合は、録音済みの部分の終わりから続けて録音されます。

● ファイナライズ済のCD-RWにさらに録音したいときは、アンファイナライズしてください。(26ページ)

● シンクロ録音機能やオートトラック機能を使う場合、本機はサウンドレベルで設定したレベルに従って録音を開始し、曲を区切ります。そのため、冒頭や曲間に無音部分のあるソースを録音すると、一曲あたりの長さ(再生時間)が一致しないことがあります。

デジタル録音するときのルール

シリアルコピーマネージメントシステム

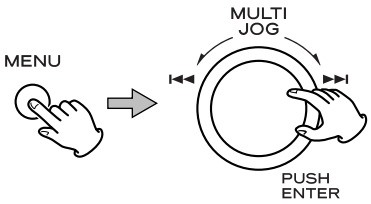
本機は、シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。この規格は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音すること(コピー)」を「1世代まで」と規制したものです。以下の原則があります。

「CD、MDなど市販のデジタル音楽ソフト」や、「アナログレコードやFM放送などをデジタル録音したもの」のコピーはできますが、コピーのコピーはできません。

録音のための設定

録音するときの設定を必要に応じて変更することができます。メモリーバックアップ機能がありますので、設定した内容は、コンセントから電源プラグを抜いて放置しても、半永久的に保持されます。

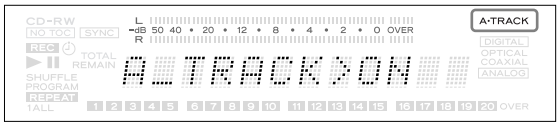
MENUボタンを押すたびに項目が変わります。MENUボタンで変更したい項目を選んだら、MULTI JOGをまわして変更してください。設定が終わったら、MULTI JOGまたはMENUボタンを押して終了してください。



A_TRACK(オートトラック)
↓
S_LVL(サウンドレベル)
↓
FADE IN(フェードイン)
↓
FADE OUT(フェードアウト)
↓
VOLUME(デジタルボリューム)
↓
TIMER(タイマー)
↓
通常の表示

● 前回設定した項目が最初に表示されます。
(電源を切ると、"A_TRACK"から表示されます)
● "VOLUME"は録音中、録音待機中およびモニター中にしか表示されません。
● 時刻が設定してある場合は"TIMER?"が表示されます。
タイマーの設定方法については30ページをご覧ください。

オートトラック [A_TRACK]

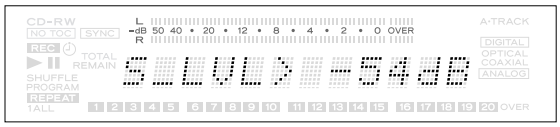


オートトラックをオンにすると、録音中に自動的に曲番を付けることができます。デジタル信号で曲の変わり目を検出した場合や、入力信号が2秒以上続けて無音状態(サウンドレベルで設定したレベル以下)になったあとに次の曲が始まった場合に、自動的に曲番を更新します。
オートトラックがオンのときは、ディスプレーの右上に"A・TRACK"が表示されます。

オートトラックがオフのときは、録音中、曲番を付けたいところでRECORDボタンを押して曲番を付けてください。

● オートトラックがオンのときでも、録音中にRECORDボタンを押すと曲の途中に曲番を追加することができます。

サウンドレベル [S_LVL]



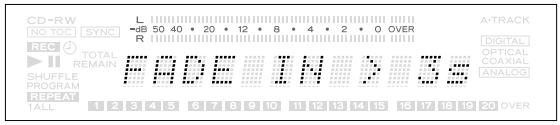
オートトラックで曲番を付けるときや、シンクロ録音するときに、「無音状態」として検出するための音のレベルを変更することができます。
この取扱説明書では、録音するソースのレベルがサウンドレベルで設定した値より低い状態のことを、無音状態と呼びます。

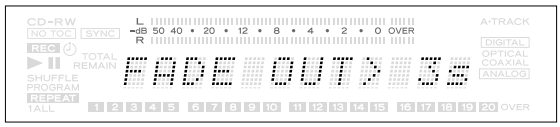
選択できる数値は、-24,-30,-36,-42,-48,-54,-60,-66,-72dBです。初期値は-54dBです。

シンクロ録音がうまく働かない場合
アナログ入力など、雑音のあるソースをシンクロ録音するときに、サウンドレベルをその雑音より下に設定してしまうと、シンクロ録音できません。その場合はサウンドレベルを高くしてください。

曲の頭が欠ける場合
小さな音から始まる曲をシンクロ録音するときに曲の頭が欠けてしまう場合は、サウンドレベルを低くしてください。CDからデジタル入力で録音するときなど、雑音がない場合は、サウンドレベルを低く設定することができます。

フェードイン・フェードアウト [FADE IN, FADE OUT]

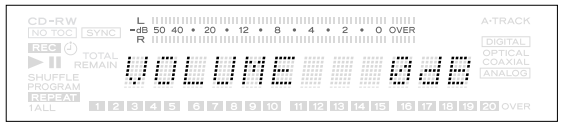




フェードイン/フェードアウトを使って録音するときのフェード時間を変更することができます。
MENUボタンで"FADE IN"または"FADE OUT"を選び、MULTI JOGで変更してください。
設定範囲は1～24秒です。初期値は3秒です。

フェードイン/フェードアウトを使って録音する方法は20ページをご覧ください。

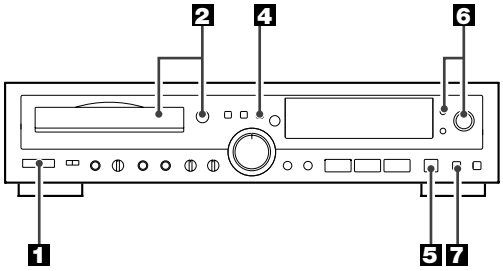
デジタルボリューム [VOLUME]



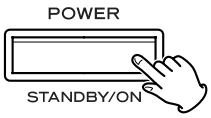
録音中、録音待機中およびモニター中にしか表示されません。デジタル入力用(Optical In/Coaxial In)とアナログ入力用(Analog Inおよびミックス)の録音レベルを、別々に設定できます。
INPUT SELECTボタンで入力するソースを選んでから設定してください。

● デジタルダイレクトがオンのときは、表示されません。

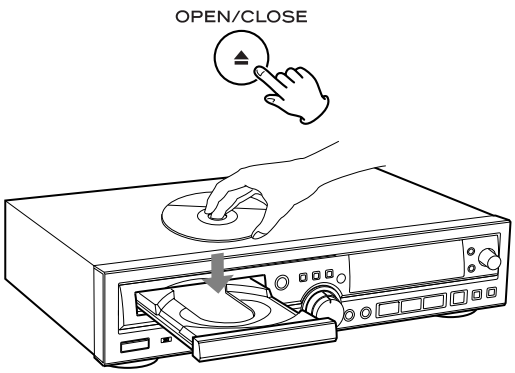
CDを簡単にコピーするには



1 電源を入れる。



2 録音用のCD-RまたはCD-RWをセットする。



OPEN/CLOSEボタンを押すとディスクトレーが開きます。
ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせてから、
OPEN/CLOSEボタンを押してトレーを閉めてください。

3 CDプレーヤーにCDをセットして、再生の準備をする。

4 INPUT SELECTボタンを押してOptical InまたはCoaxial Inを選ぶ。

Optical In(デジタル入力)：
光ケーブルでDIGITAL INに接続した機器から録音するとき

Coaxial In(デジタル入力)：
同軸ケーブルでDIGITAL INに接続した機器から録音するとき

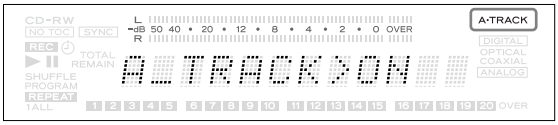
5 RECORDボタンを押す。

録音待機状態になり、**REC**と❚❚が点灯します。

6 MENUボタンを押して設定を確認する。

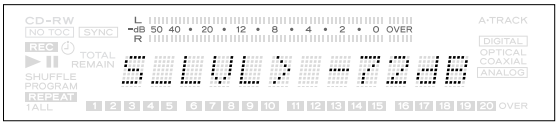
MENUボタンを押すたびに設定項目が変わります。

1. オートトラックをオンにする。



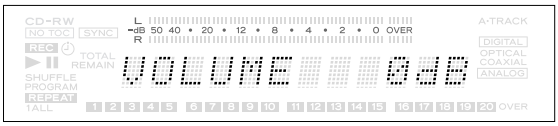
もしオートトラックがオフになっていたら、MULTI JOGをまわしてオンにしてください。

2. サウンドレベルを-72dBに設定する。



MENUボタンを押して"S_LVL"を選び、MULTI JOGを左にまわして-72dBにしてください。

3. デジタルボリュームを0dBに設定する。

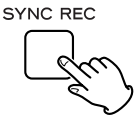


MENUボタンを押して"VOLUME"を選び、MULTI JOGをまわして0dBにしてください。

1～3の設定が終わったら、MULTI JOGを押してください。

7 SYNC RECボタンを押す。

シンクロ録音モードになり、SYNCが点灯します。



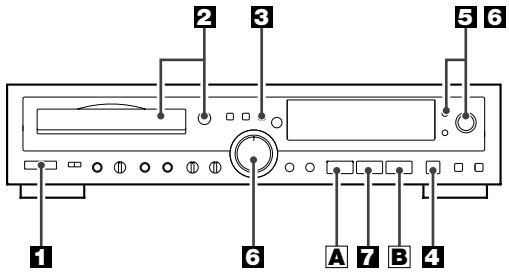
8 CDプレーヤーでCDを再生して、シンクロ録音を始める。

- CDの再生が始まると、本機は自動的に録音を始めます。
- CDの再生が終わると、本機は録音待機状態になります。STOPボタン(■)を押して録音を終了してください。

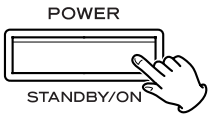
"PMA Writing"が表示されているときは

STOPボタン(■)を押すと、"PMA Writing"が表示されます。表示中はボタン操作を受け付けません。
録音した内容をディスクに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

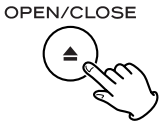
録　音

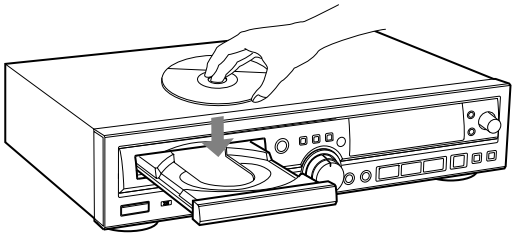


1 電源を入れる。



2 録音用のCD-RまたはCD-RWをセットする。





OPEN/CLOSEボタンを押すとディスクトレーが開きます。ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせてから、OPEN/CLOSEボタンを押してトレーを閉めてください。

3 INPUT SELECTボタンを押して録音するソースを選ぶ。

INPUT SELECTボタンを押すたびに、以下のように変わります。

Optical In(デジタル入力)：
光ケーブルでDIGITAL INに接続した機器から録音するとき

Coaxial In(デジタル入力)：
同軸ケーブルでDIGITAL INに接続した機器から録音するとき

Opt + Analog(ミックス入力)：
OPTICAL DIGITAL INに接続した機器と、LINE IN、MICに接続した機器からミックス録音するとき

Coax + Analog(ミックス入力)：
COAXIAL DIGITAL INに接続した機器と、LINE IN、MICに接続した機器からミックス録音するとき

Analog In(アナログ入力)：
LINE IN、MICに接続した機器から録音するとき

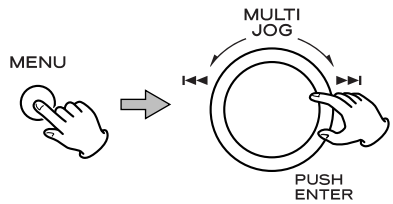
ミックス録音の方法については24ページをご覧ください。

4 RECORDボタンを押す。

録音待機状態になり、**REC**と❚❚が点灯します。

5 曲番の付け方を選ぶ。(オートトラック)

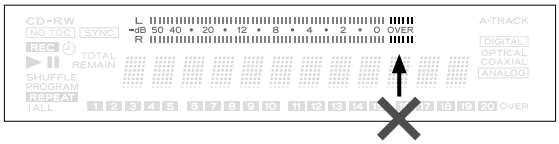
MENUボタンとMULTI JOGで、曲番の付け方を選んでください。(15ページ)



6 必要に応じて録音レベルを調節する。

調節する必要がない場合は 7 に進んでください。

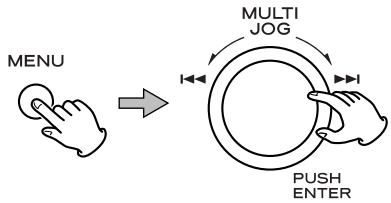
録音するソースの音を出し、音が最も大きいときにピークレベルメーターの"OVER"が点灯しないように調節してください。"OVER"が点灯すると、音が歪んでしまいます。



デジタル入力の場合

デジタルボリュームで調節します。
MENUボタンを繰り返し押して"VOLUME"を選び、MULTI JOGをまわして調節してください。調節が終わったら、MULTI JOGを押すと録音待機状態に戻ります。

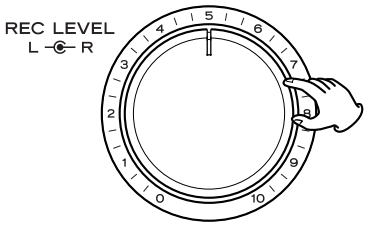
CDなどを録音する場合、通常は0dBにしてください。



アナログ入力の場合

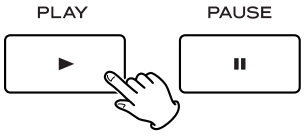
本体のREC LEVELつまみをまわして調節します。

● デジタルボリュームは0dBにしておいてください。



7 録音を始める。

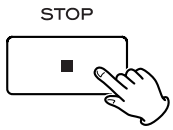
PLAYボタン(►)またはPAUSEボタン(❚❚)を押してから録音するソースを再生し、録音を始めてください。



● 録音中にRECORDボタンを押すと、曲番が付きます。

A 録音を止めるには

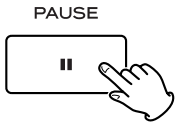
STOPボタン(■)を押すと、"PMA Writing"が表示されたあと、録音が停止します。



"PMA Writing"が表示されているときは

表示中はボタン操作を受け付けません。
録音した内容をディスクに記録していますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

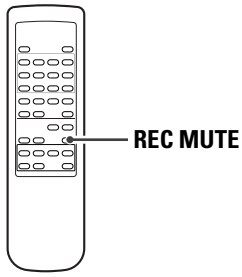
B 録音を一時停止するには



PAUSEボタン(❚❚)を押すと一時停止状態になり、❚❚が点灯します。PAUSEボタン(❚❚)またはPLAYボタン(►)を押すと、再び録音が始まります。

● 一時停止するたびに曲番が付きます。

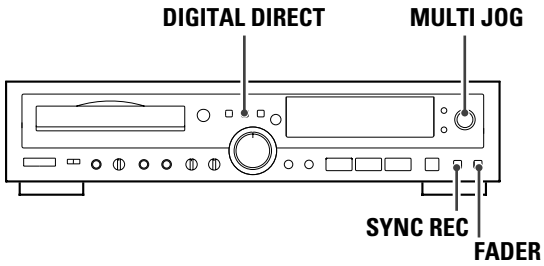
C 無音録音状態にするには



録音中にリモコンのREC MUTEボタンを押すと無音録音状態になり、約4秒後に一時停止(録音待機)状態になります。
PLAYボタン(►)またはPAUSEボタン(❚❚)を押すと、再び録音が始まります。

● 一時停止するたびに曲番が付きます。

録音するときに便利な機能



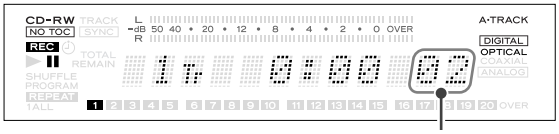
シンクロ録音

19ページの**6**で録音レベルを調節したあとに、録音待機状態でSYNC RECボタンを押すとシンクロ録音待機状態になり、 SYNC が点灯します。
録音するソースを再生し、1秒以上の無音状態(サウンドレベルで設定した値よりも低い状態)のあとに曲が始まった場合、またはデジタル入力で曲の最初の音を検出した場合に、シンクロ録音を開始します。
録音中に、無音状態が5秒以上続くと、録音待機状態になります。

- シンクロ録音中にSYNC RECボタンを押すと、通常の録音になります。また、通常の録音中にSYNC RECボタンを押すと、そこからシンクロ録音になります。
- シンクロ録音待機中に本機のPLAYボタン(►)またはPAUSEボタン(❚❚)を押して録音を開始した場合は、シンクロ録音は解除されます。
- シンクロ録音中にPAUSEボタン(❚❚)やFADERボタンを押して録音を一時停止すると、シンクロ録音は解除されます。
- シンクロ録音中にRECORDボタンを押して曲番を追加しても、シンクロ録音は解除されません。
- ソースの再生が終わると、本機は録音待機状態になります。STOPボタンを押して録音を終了してください。

曲数を指定して録音するには

指定した曲数を録音すると、自動的に録音を終了する機能です。
録音待機中または録音中にMULTI JOGを右にまわすと、録音する曲数が表示されます。



- 合計99曲まで指定できます。
- 曲数を指定していないときは、何も表示されません。

フェードイン・フェードアウト

19ページの**6**で録音レベルを調節したあとに、録音待機状態でFADERボタンを押すと、フェードインしながら録音を始めます。

録音中にFADERボタンを押すと、フェードアウトしながら録音待機状態になります。

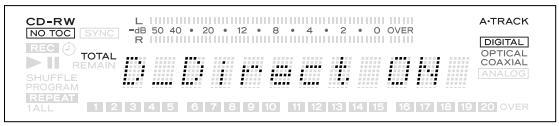
フェードイン中のフェードアウト、フェードアウト中のフェードインも可能です。

- フェードイン・フェードアウトの時間は変更できます。(15ページ)
- シンクロ録音と同時には使えません。
- FADERボタンを押すのと同時に、録音するソースの再生を始めてください。

デジタルダイレクト

44.1kHzのデジタルソースを、入力されたデジタル信号のまま録音する機能です。
CDなどをそのままコピーするときにお使いください。

DIGITAL DIRECTボタンを押すたびに、デジタルダイレクトのオンとオフが切り換わります。



オン

サンプリングレートコンバーター：バイパスします。
デジタルボリューム：設定できません。

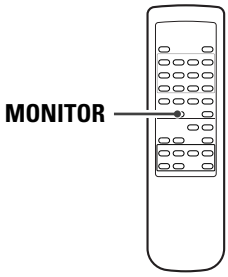
録音中、録音待機中およびモニター中には、"DIGITAL"がゆっくり点滅します。(入力がOptical InまたはCoaxial Inのときのみ)

オフ

サンプリングレートコンバーター：入力する周波数によって自動的にオン／オフが切り換わります。
デジタルボリューム：設定した値になります。

● ディスプレーに"Not Fs 44.1k!"が表示される場合は、デジタルダイレクトをオフにしてください。

モニター



停止中にリモコンのMONITORボタンを押すと、録音するソースをモニターすることができます。モニターを終了するときは、STOPボタンを押してください。

● 録音可能なディスクがセットされていないときにRECORDボタンを押した場合も、モニター状態になります。

オートサンプリングレートコンバーター

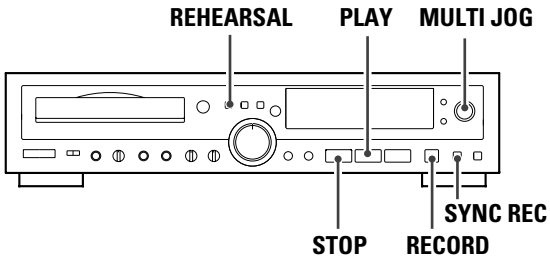
一般のデジタルオーディオには、次の3種類のサンプリング周波数が使われています。

48kHz　：DATの標準モード、衛星放送のBモードなど。
44.1kHz：DATの標準モード、CD、MDなど。
32kHz　：DATの標準および長時間モード、衛星放送のAモードなど。

CS/BS放送やDATなど、CDと異なるサンプリング周波数(FS)のソースや、ピッチコントロールのかかったデジタル信号が入力された場合、本機はそれぞれのサンプリング周波数を44.1kHzに自動変換して録音します。また、CDやMDなど、44.1kHzのソースを録音するときは、サンプリングレートコンバーターを使わずに録音します。これにより、サンプリング周波数が32kHz～48kHzのソースを、切り換え操作なしに高音質なデジタル信号のまま録音することができます。

リハーサル機能

シンクロ録音するときに録音を開始する位置や、オートトラックでトラック番号を付ける位置を、微調整するための機能です。
特にアナログ入力の場合は、録音で失敗しないために、リハーサルしてから録音することをおすすめします。



シンクロ録音のリハーサル

1 停止中にREHEARSALボタンを押す。

シンクロする音を待つ状態(Waiting Sync)になります。

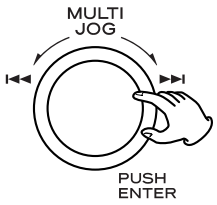
- REHEARSALボタンを押すたびに、"Waiting Sync"と"Waiting Inc"が切り換わります。
- オートトラックがオフのときは、"Waiting Inc"は表示されません。

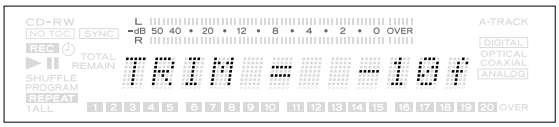
2 録音するソースを頭から再生する。

曲の頭から約4秒間の音を取り込み(Sync RHSL)、その部分だけを繰り返し再生します(Sync 0:00)。

- リハーサル再生中にREHEARSALボタンを押すと、"Waiting Sync"に戻ります。

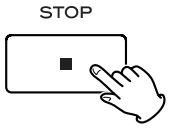
3 MULTI JOGをまわして、録音を始めたい位置に曲の頭を合わせる。





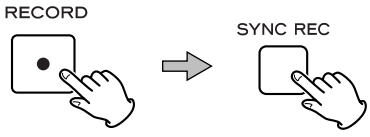
調節範囲は、−125f〜+125f(±1.7秒)です。

4 STOPボタンを押してリハーサルを終了する。



5 RECORDボタンを押してからSYNC RECボタンを押す。

シンクロ録音待機状態になります。



6 録音するソースを再生する。

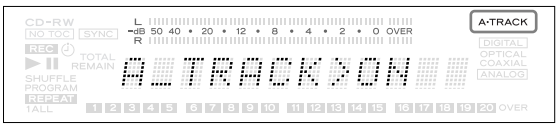
リハーサルで合わせた位置から、シンクロ録音が始まります。

オートトラックのリハーサル

(リハーサルインクリメント)

1 オートトラックをオンにする。

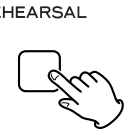
オートトラックがオフになっていると、リハーサルができません。



2 オートトラックで曲番を付けたい曲の一つ前の曲を再生する。

3 停止中にREHEARSALボタンを2回押す。

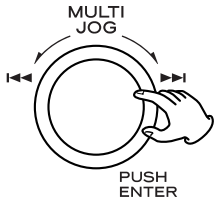
曲の頭を待つ状態(Waiting Inc)になります。

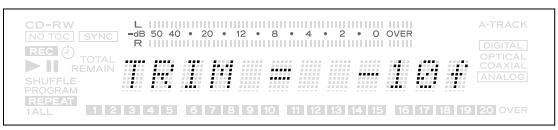


曲の変わり目を検出すると、そこから約4秒間の音を取り込み(Inc RHSL)、その部分だけを繰り返し再生します(Inc 0:00)。

● リハーサル再生中にREHEARSALボタンを押すと、"Waiting Inc"の状態に戻ります。

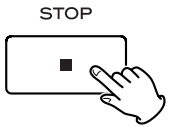
4 MULTI JOGをまわして、曲番を付けたい位置に2曲目の頭を合わせる。





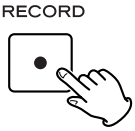
調節範囲は、−125f〜+125f(±1.7秒)です。

5 STOPボタンを押してリハーサルを終了する。

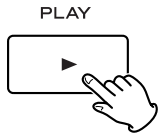


6 RECORDボタンを押す。

録音待機状態になります。
シンクロ録音にする場合は、SYNC RECボタンも押してください。



7 録音を始める。

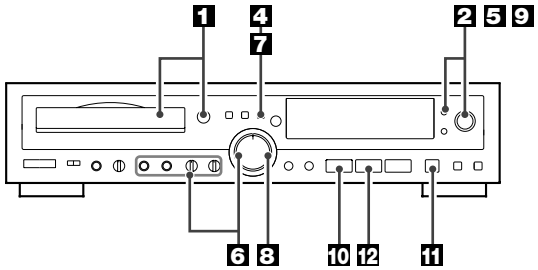


PLAYボタンまたはPAUSEボタンを押してから録音するソースを再生して録音を始めてください。
シンクロ録音の場合は、録音するソースを再生すると録音が始まります。

曲の変わり目を検出すると、曲番が付きます。

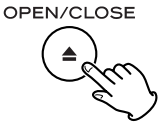
● リハーサルを中断したい場合はSTOPボタンを押してください。
● 曲の頭や間で無音状態を検出できなかった場合は、サウンドレベルを上げてみてください。(15ページ)
● シンクロ録音のリハーサルとオートトラックのリハーサルの数値を別々に設定することはできません。
● 設定した値はスタンバイにすると消去されます。
● ディスクが入っていないときや、再生専用のディスクが入っているときでもリハーサルは可能です。

ミックス録音



デジタル入力の音とアナログ入力の音をミックスして録音することができます。

1 録音用のCD-RまたはCD-RWをセットする。



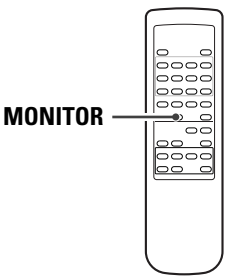
OPEN/CLOSEボタンを押すとディスクトレーが開きます。ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせてから、OPEN/CLOSEボタンを押してトレーを閉めてください。

2 曲番の付け方を選ぶ。(オートトラック)

MENUボタンとMULTI JOGで、曲番の付け方を選んでください。(15ページ)

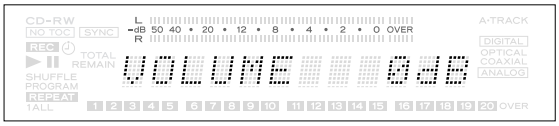
3 リモコンのMONITORボタンを押す。

録音するソースの音をモニターできる状態になります。接続した機器の電源が入っていないと、モニターできません。



4 INPUT SELECTボタンを押して"Analog In"を選ぶ。

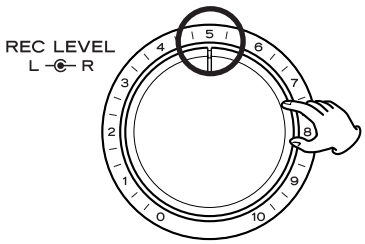
5 デジタルボリュームを0dBに設定する。

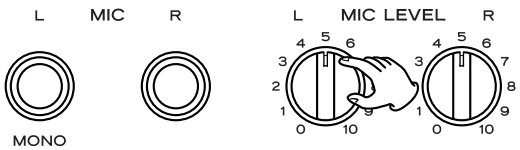


MENUボタンを押して"VOLUME"を選び、MULTI JOGをまわして0dBにしてください。
設定が終わったら、MULTI JOGを押してください。

6 マイク入力とアナログ入力のバランスを調節する。

(マイク入力を使わない場合は、7に進んでください)





REC LEVELを"5"の位置に合わせて、アナログ入力とマイク入力のソースを再生し、MIC LEVELで音量の差を調節します。
ピークレベルメーターの"OVER"が点灯する場合は、REC LEVELを少し左に回してから、調節しなおしてください。

● マイクを1本しか使わないときは、L(MONO)に差し込んでください。

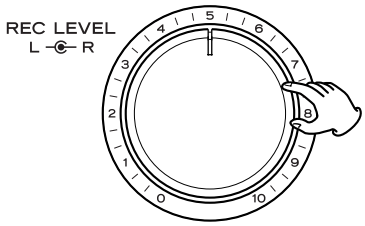
7 INPUT SELECTボタンを押して "Opt+Analog "ま たは "Coax+Analog" を選ぶ。

Opt + Analog：
OPTICAL DIGITAL INに接続した機器と、LINE IN、MICに接続した機器からミックス録音するとき

Coax + Analog：
COAXIAL DIGITAL INに接続した機器と、LINE IN、MICに接続した機器からミックス録音するとき

● INPUT SELECTボタンを押すと音量が下がりますが、異常ではありません。

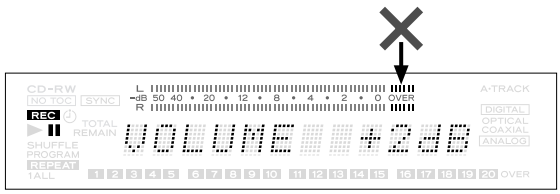
8 マイク+アナログ入力と、デジタル入力のバランスを調節する。



マイク+アナログ入力とデジタル入力のソースを再生し、REC LEVELをまわしてマイク+アナログ入力とデジタル入力の音量差を調節します。

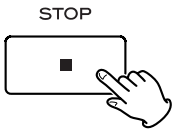
● REC LEVELをまわしてもデジタル入力の音量は変化しません。

9 全体の音量を調節する。



MENUボタンで"VOLUME"を選び、MULTI JOGをまわすと全体の音量が変化します。ピークレベルメーターの"OVER"が点灯しないように調節して、MULTI JOGを押してください。

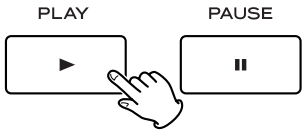
10 STOPボタン(■)を押してモニターを終了する。



11 RECORDボタンを押す。

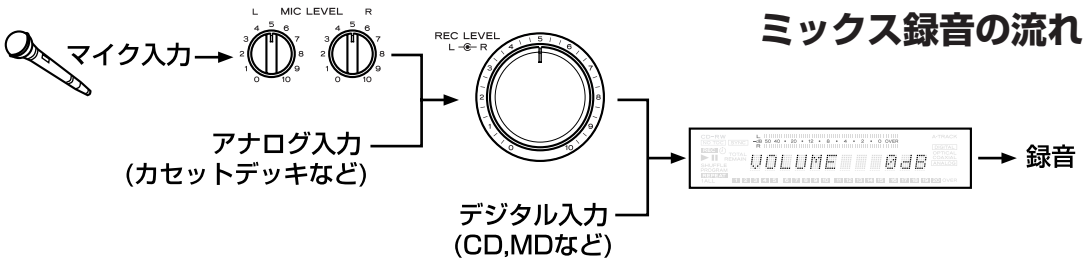
録音待機状態になります。

12 録音を始める。

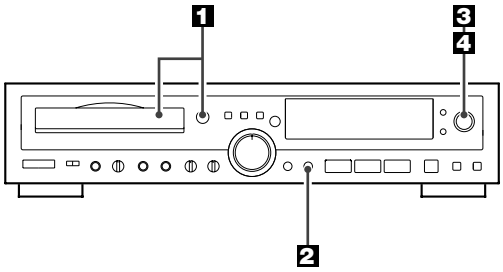


PLAYボタン(►)またはPAUSEボタン(❚❚)を押してから録音するソースを再生し、録音を始めてください。

録音が終わったら、STOPボタン(■)を押してください。



消　去



曲を消去するには

CD-RWの「全ての曲」または「指定した曲から最後の曲まで」を消去することができます。
途中に収録された曲だけを消去することはできません。

ファイナライズ済のCD-RWにさらに録音したいときは、アンファイナライズしてください。

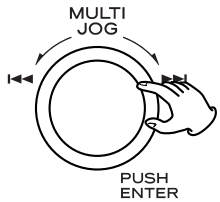
● ファイナライズ済のCD-RWの曲を消去しようとすると、自動的にアンファイナライズされます。

1 CD-RWをセットする。

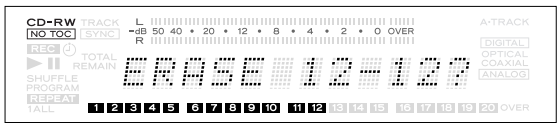
2 ERASEボタンを押す。

● ERASEボタンは停止中にしか使えません。

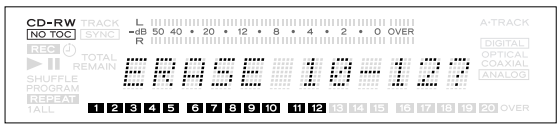
3 MULTI JOGでアンファイナライズ、消去または消去を開始する曲番を選択する。



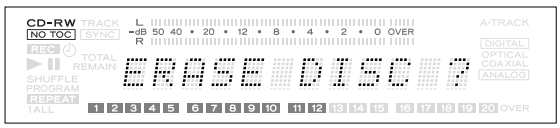
最後の曲だけを消去する場合(例：曲番12)



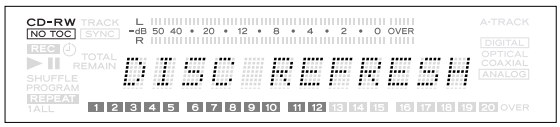
途中から最後の曲まで消去する場合(例：曲番10～12)



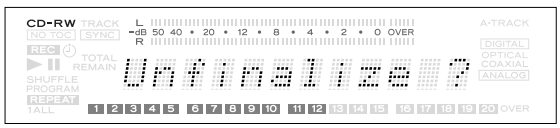
全ての曲を消去する場合



ディスクの内容を全て消去する場合(ディスクリフレッシュ)

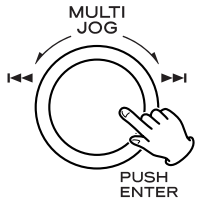


アンファイナライズ



● ディスクリフレッシュには時間がかかりますので、通常の全曲消去には"ERASE DISC"をおすすめします。
● 録音時にエラーを起こすようになったディスクをディスクリフレッシュすると、エラーが発生しなくなることがあります。
● 取り止めたい場合はSTOPボタンを押してください。

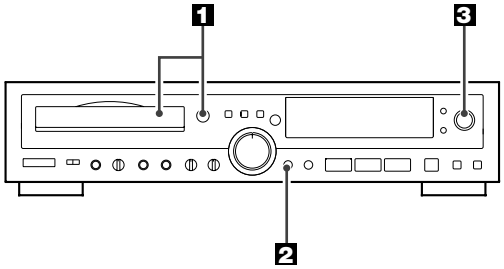
4 MULTI JOGを押す。



消去が始まります。
所要時間がディスプレーに表示されます。
消去が完了すると、"Complete"と表示して、停止します。

● 消去中はボタンを押しても機能しません。
● 消去中は電源コードを抜かないでください。

ファイナライズ



音声データをCD-RやCD-RWディスクに記録しても、最終的なTOC(録音したデータの情報)をディスクに記録しなければ、一般のCDプレーヤーで再生することはできません。

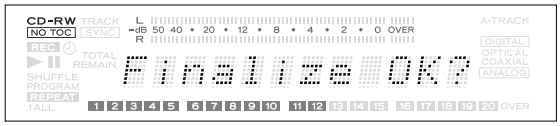
TOCを記録することをファイナライズといいます。

CD-Rをファイナライズすると、通常のCDプレーヤーで再生できるようになります。ファイナライズされたCD-Rにはそれ以上録音することができません。なお、ファイナライズされたCD-Rをセットすると、本機はCDとして認識します。

CD-RWをファイナライズすると、CD-RW対応のCDプレーヤーで再生できるようになります。ファイナライズ済のCD-RWにさらに録音したいときは、アンファイナライズしてください(前ページ)

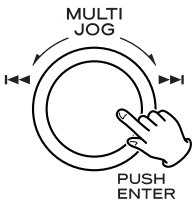
1 CD-RまたはCD-RWをセットする。

2 FINALIZEボタンを押す。



- FINALIZEボタンは停止中にしか使えません。
- 中断したい場合はSTOPボタンを押してください。

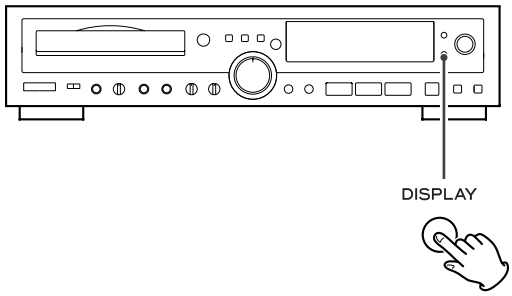
3 MULTI JOGボタンを押す。



ファイナライズが始まります。
"REC"と"TOC"が点滅し、所要時間がディスプレーに表示されます。
ファイナライズが完了すると、"Complete"と表示して、停止します。

- ファイナライズ中はボタンを押しても機能しません。
- ファイナライズ中は電源コードを抜かないでください。

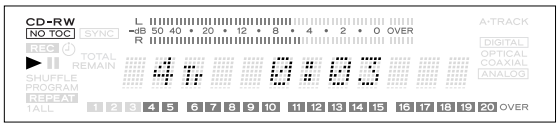
ディスプレーの表示



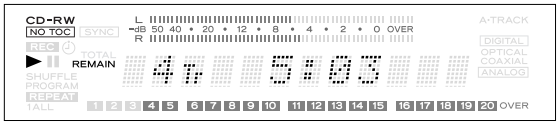
DISPLAYボタンを押すと、ディスプレーの表示が変わります。

再生中

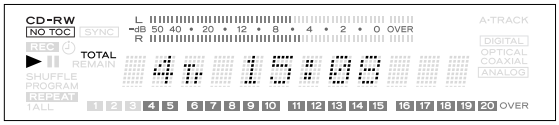
再生中の曲の経過時間



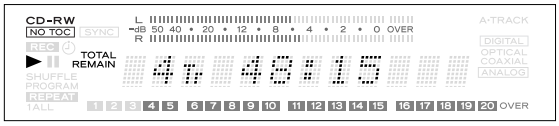
再生中の曲の残り時間



再生中のディスクの総経過時間

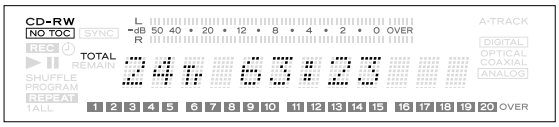


再生中のディスクの残り再生時間

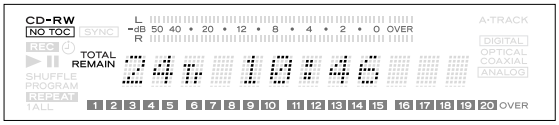


停止中

総曲数および総再生時間

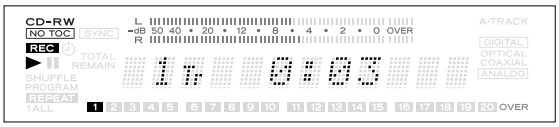


録音可能時間(CD-RまたはCD-RWの場合)

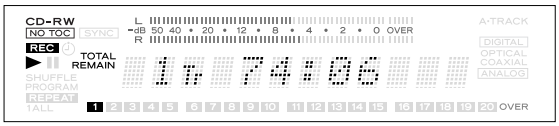


録音中

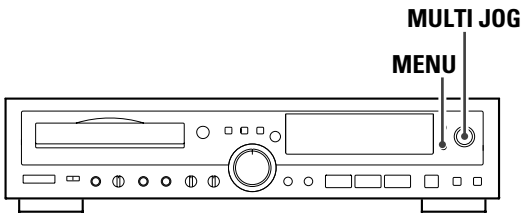
録音中の曲の録音経過時間



録音可能時間



時刻合わせ

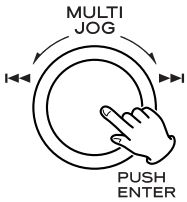


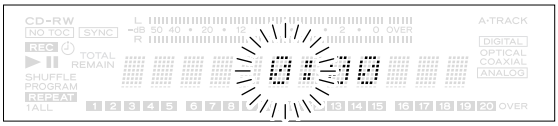
1 スタンバイ状態(時刻または"Clock Adjust"が表示された状態)でMENUボタンを押す。

"CLOCK ADJ ?"が点灯します。

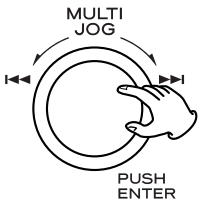
- 時刻合わせを中断したいときは、もう一度MENUボタンを押してください。

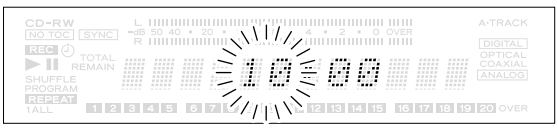
2 MULTI JOGを押す。



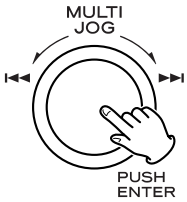


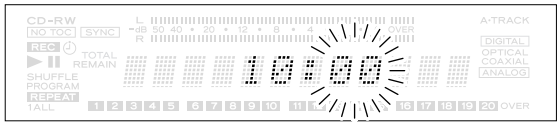
3 MULTI JOGをまわして"時"を合わせる。



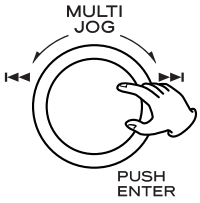


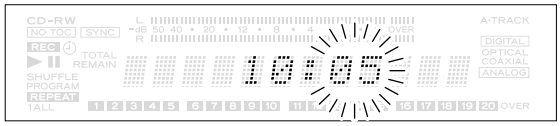
4 MULTI JOGを押す。



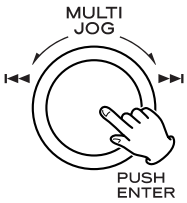


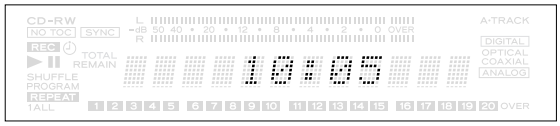
5 MULTI JOGをまわして"分"を合わせる。





6 MULTI JOGを押す。

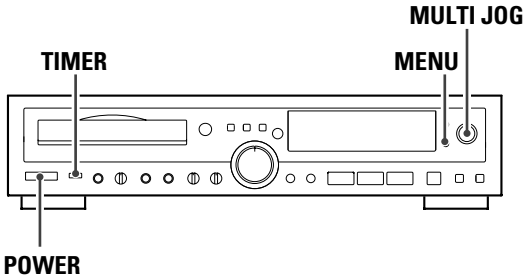




時計がスタートします。

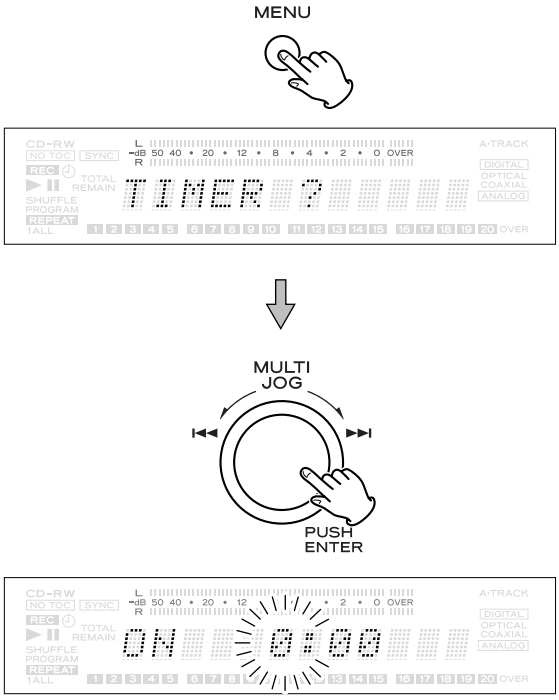
- 時報に合わせてMULTI JOGを押すと、時刻を正確に設定できます。
- 電源プラグを抜いた状態で15分以上放置すると、時刻の設定はクリアされます。

タイマーの設定



あらかじめ時刻を合わせておいてください。

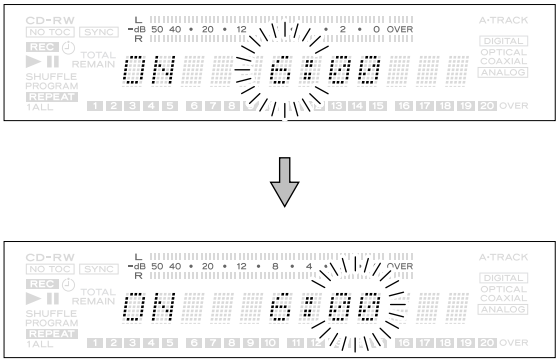
1 オン状態でMENUボタンを繰り返し押して"TIMER?"を選び、MULTI JOGを押す。



- 時刻を設定してからでないと"TIMER?"は表示されません。
- ディスクが入っていないと"TIMER?"は表示されません。

2 MULTI JOGで開始時刻(時)を設定する。

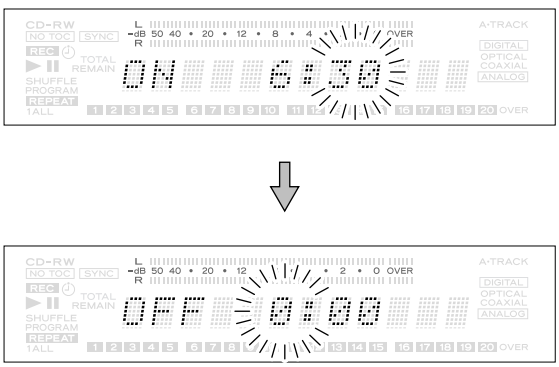
MULTI JOGをまわして時刻を設定してから、MULTI JOGを押してください。



開始時刻(分)が点滅します。

3 MULTI JOGで開始時刻(分)を設定する。

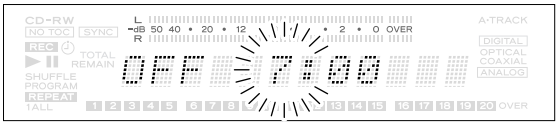
MULTI JOGをまわして時刻を設定してから、MULTI JOGを押してください。

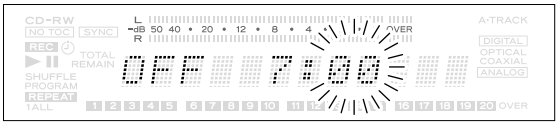


"OFF"と表示され終了時刻(時)が点滅します。

4 MULTI JOGで終了時刻(時)を設定する。

MULTI JOGをまわして時刻を設定してから、MULTI JOGを押してください。

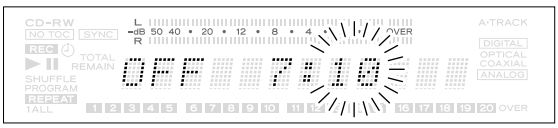


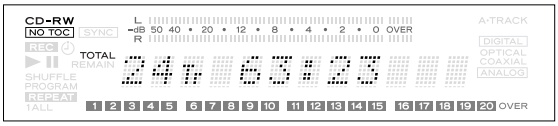


終了時刻(分)が点滅します。

5 MULTI JOGで終了時刻(分)を設定する。

MULTI JOGをまわして時刻を設定してから、MULTI JOGを押してください。

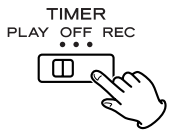




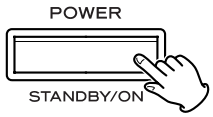
タイマー時刻の設定が終わり、元の表示に戻ります。

6 TIMERスイッチをPLAY(再生)またはREC(録音)にする。

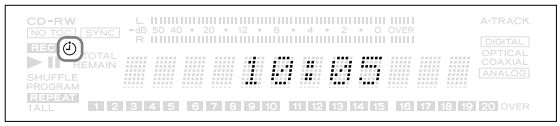
タイマー録音する場合は、INPUT SELECTボタンで入力するソースを選んでおいてください。



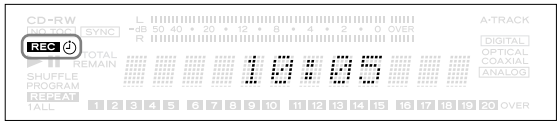
7 POWERボタンを押してスタンバイ状態にする。



タイマー再生



タイマー録音



設定した時刻になると、タイマー再生またはタイマー録音が始まります。タイマー再生/録音中は、タイマーマークが点滅します。

- タイマーを実行できない状態でPOWERボタンを押すと、"Timer Error"が表示されます。再生用または録音用のディスクが入っているか確認してください。

- タイマー再生/録音中にSTOPボタンやOPEN/CLOSEボタンを押して再生/録音を止めた場合は、タイマーの終了時刻になっても電源は切れません。
- タイマーを使わないときは、TIMERスイッチを"OFF"にしておいてください。
- 時刻が設定されていない状態でTIMERスイッチをPLAYまたはRECにすると、スタンバイ状態のときにタイマーマークが点滅します。

メッセージ一覧

エラーメッセージ

エラーメッセージが表示されたときは、STOPボタンを押してから原因を取り除いてください。

Data Disc !!
　"DIGITAL AUDIO"表示のないディスクは録音/消去／ファイナライズできません。
D-IN UNLOCK!
　デジタル入力が接続されていません。DIGITAL INに接続した機器の電源を入れてください。
Not Fs44.1k!
　デジタル入力ののサンプリング周波数が44.1KHzではありません。デジタルダイレクトをオフにしてください。
Cannot Rec !
　録音できません。ディスクを交換してください。
Erase Error!
　消去中にエラーが発生しました。
Disc Full !!
　曲数、または録音時間が限界なので、録音を停止します。
SCMS !!
　シリアルコピーマネージメントシステムで制限されているため、デジタル録音はできません。アナログ入力で録音してください。
No OPC Area!
　OPCエリアがいっぱいで録音できません。ファイナライズしてください。
PGM Full !
　すでに25曲プログラムされています。
No Inc Mode
　AUTO TRACKがOFFになっているためINC RHSLできません
Disc Error !
　ディスクに何らかの障害があります。ディスクを交換してください。
Timer Error!
　タイマーが実行できない状態になっています。ディスクが入っているか確認してください。タイマー録音の場合は、録音可能なディスクが入っているか確認してください。
Rec Error!
　録音中にエラーが発生しました。録音をやり直してください。
Need Repair!
　修復が必要なディスクです。
System Err!
　システムエラー
Tray Error !
　トレイに異常があります。
Drive Error!
　CD-RWドライブに異常があります。

通常メッセージ

TOC Reading
　TOC情報を読み取り中です。
Now OPC
　最適な状態で録音するために、セットされているディスクの特性に合わせてキャリブレーションしています。
　(OPC : Optimum Power Control)
PMA Writing
　録音した内容をディスクに記録中です。
　(PMA : Program Memory Area)
Complete
　消去またはファイナライズが完了しました。
Waiting Sync
　シンクロ録音のリハーサルモードで、シンクロ条件の待機中です。
Sync RHSL
　シンクロ録音のリハーサルモードで、音の取り込み中です。
Waiting INC
　オートトラックのリハーサルモードで、インクリメント条件の待機中です。
Inc RHSL
　オートトラックのリハーサルモードで、音の取り込み中です。
OPC Area CLR
　OPCエリアをクリア中です。
REPAIR
　ディスク情報を修復中です。

おや？故障かな？

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社サービスセンターにご連絡ください。

電源が入らない
➔ 電源プラグの差し込みが不完全ではありませんか？

音が出ない。
➔ システムとの接続を確認してください。
➔ アンプの操作を確認してください。

"Disc Error !"が表示される。
➔ ディスクが損傷しています。ディスクを入れ直しても"Disc Error !"が表示される場合は、ディスクを交換してください。

再生できない。
➔ 結露している場合は、ディスクを取り出して数時間放置してください。
➔ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
➔ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。

シャッフル再生を解除できない。
➔ リモコンのPLAY MODEボタンを2回押して通常の再生モードにしてください。また、電源プラグを抜くと、解除されます。

音飛びがする。
➔ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。

タイマーが作動しない。
➔ 時刻を設定しないとタイマー機能は使えません。停電などで時刻設定が消えてしまった場合は、時刻とタイマーを設定しなおしてください。
➔ ディスクが入っているか確認してください。
➔ タイマー録音の場合は、録音可能なディスクが入っているか確認してください。

録音できない。
➔ 音楽用のCD-R/CD-RWを使ってください。
➔ ファイナライズ済のCD-R/CD-RWには録音できません。ディスクを交換してください。
➔ CD-Rの録音残り時間が足りない場合は、ディスクを交換してください。
➔ CD-RWの録音残り時間が足りない場合は、不要な曲を消去するかディスクを交換してください。
➔ 録音レベルを調節してください。
➔ アンプの操作を確認してください。
➔ 録音できないディスクが入った状態でRECORDボタンを押すと、入力ソースのモニター状態になります。STOPボタンを押してモニターを解除し、ディスクを交換してください。

リモコンで操作できない。
➔ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。
➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。

雑音がする。
➔ テレビなど強い磁気を帯びたものからは十分離して設置してください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

仕　様

記録メディア . . . . . 音楽用CD-R/CD-RW
入力サンプリング周波数 . . . . . 32kHz～48kHz
録音サンプリング周波数 44.1kHz
周波数特性 . . . . . 20Hz～20kHz
(再生時：±0.5dB、記録時：±1dB)
S/N比 . . . . . 97dB以上(再生時)
92dB以上(記録時)
ダイナミックレンジ . . . . . 94dB以上(再生時)
92dB以上(記録時)
歪率. . . . . 0.004%以下(再生時)
0.005%以下(記録時)
ワウ・フラッター . . . . . 測定限界以下

入力端子 . . . . . アナログ：ライン×1系統
マイク×1系統(L/MONO,R)
デジタル：光/同軸　各1系統
出力端子 . . . . アナログ：ライン×1系統、ヘッドホン×1
デジタル：光/同軸　各1系統
ライン入力 . . . . . 入力インピーダンス：33kΩ
規定入力レベル：-10dBV(316mV)
マイク入力 . . . . . 入力インピーダンス：47kΩ
規定入力レベル：-50dBV(3.16mV)

ライン出力 . . . . . 出力インピーダンス：800Ω
規定出力レベル：-10dBV(316mV)
最大出力レベル：+6dBV(2.0V)
ヘッドホン出力 32Ω

電源 . . . . . AC100V、50-60Hz
消費電力 27W
外形寸法(幅×高さ×奥行き) . . . . 435×102×312mm
質　量 5.5kg
動作保証温度 . . . . . 5℃～35℃
付属品 . . . . . リモコン(RC-754)
リモコン用乾電池(単3)×2本
オーディオケーブル×2本
取扱説明書
保証書

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

保証とアフターサービス（よくお読みください）

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

33ページの「おや？故障かな？」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費等が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CDレコーダー　RW-800
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として愉しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先　(社)私的録音補償金管理協会
Tel:03-5353-0336　Fax:03-5353-0337

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ティアック株式会社

ティアック エソテリック カンパニー
〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

市内通話料でOK ナビダイヤル **0570-000-701**
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒180-8550　東京都武蔵野市中町3-7-3
電話：0422-52-5091 / FAX：0422-52-5194

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

市内通話料でOK ナビダイヤル **0570-000-501**
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

http://www.teac.co.jp/av/
0903-MA-0335C C